

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)



年頭の抱負

石巻専修大学長

尾池 守



地域社会を担う学生の育成であり、本学を担う教職員の養成でもあります。まさに「社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人材」を創ります。

次代を担う人材を創る

日高義博新総長、松木健一 新理事長の下、本学は今後10年、20年を見据えた次代を担う人材を育成します。それは

理工・人間学部 22年4月に新編

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)危機のなかで迎えた新年ではございますが、石巻専修大学は昨年と同様に十全な対策の下、ウィズコロナ時代を乗り切る所存でございます。関係する皆様方のご協力をお願い申し上げます。

ソサエティ5.0時代に向けた人材育成、持続可能な開発目標(SDGs)への知的創造に向けて、時代の変化と社会の要請に応じ、建学の精神「社会に対する報恩奉仕」と21世紀ビジョン「社会知性の開発」に基づき、独自性を発展的に実現するため、本年4月には理工学部と人間学部の教育課程を新編します。

創立30周年を機に設定した中長期ビジョンの第1次中期ビジョンに基づき、社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材の育成を

担う人材を育成します。昨年、情報マネジメント学科を新設した経営学部では、ヒト・モノ・カネの動きから集積したデータを社会科学の

中長期ビジョン (2020~2024年度)

1. 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する
2. 教育研究活動を充実させる
3. 学習の質を向上させる環境を整備する

地域社会を 共創する大学へ

これらの教育課程プログラムの価値創造を持続的に推進することで、石巻専修大学は社会知性で地域社会を共創する「地域に根ざして世界に尖った大学」を目指します。

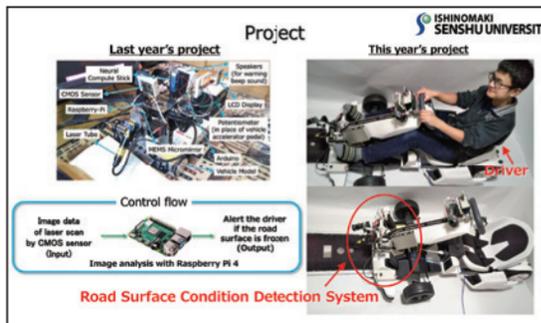
ロボット研究会

国際イノベーションコンテスト iCAN'21 SECOND PRIZE 2年連続受賞

ロボット研究会の「ROGERIO」チームその成果を競う国際大会が、12月19日に中国で開催された第12回国際イノベーションコンテスト(iCAN'21)で、最優秀賞に次ぐ「SECOND PRIZE」を2年連続で受賞した。



ROGERIOチームの
今野さん(右)と柴田さん



開発した「路面状況システムII」

高野、柴田陽平さん(理工3・山形県山形工業高)。水野純理工学部教授の指導のもと、今野さんがプロデュースした自動車のスリップ事故を防ぐ「路面状況システムII」を開発した。昨年度のiCAN'20で発表した作品をベースに、凍結検出の精度を高めたほか、実走行を想定したシステ

ムを実装するなど改良を図った。水野教授は「さまざまな工夫を施し、路面凍結の判断精度を格段に向上させたシステムとなった。学生たちの自主的に物事に取り組む姿勢、日本代表としての責任感、自分の作ったものを世界に伝えたいという強い意志が、素晴らしい結果につながった」と称賛した。

中国からの留学生である李卓さん(理工2)は、「大川小に到達した津波の高さは想像を超えていた。自然災害は人類に大きな損失をもたらす。私たちは危機感を持つべきだ」と感想を述べた。

最後に、東日本大震災にも耐えた「落ちそうで落ちない石」が御神体の釣石神社を参拝し、おみくじなどを楽しんで課外活動を終えた。

留学生14人が課外実習 防災と日本文化を学ぶ



旧大川小学校で鈴木さんの説明を聞く留学生たち

1年次生から4年次生までの留学生14人が12月11日、防災学習と日本文化体験を目的とした課外活動に参加した。

はじめに、石巻市の旧大川小学校を訪れ、「大川伝承の会語り部」の鈴木典行さんから、東日本大震災発生直後の様子な

た。具体的に業界を絞り始めたのは2年次生の後期、企業研究に取り掛かったのは3年次生の春からです。災害が起きた際、水や食料は支援物資として届けられますが、電気は電力会社でなければ復旧できません。インフラ企業の社会的責任は大きく、そこにやりがいを感じて、東北エリアの電力設備全般を担う東北電力を志望しました。

卒業後は今以上に電力に関する知識を身につけ、事業を通じて地域に貢献したいと思えます。(若手県久慈高、内定先「東北電力(株)」)

電力供給を研究 学びを地域に



坂本 琳華さん
理工学部情報電子工学科

情報の分野に加えて電子の分野も学べる点と、さまざまな資格取得を目指す点に魅力を感じて石巻専修大学に入学しました。当初は自主性に乏しく、周りに合わせ

て行動することが多かったのですが、アルバイト経験などを通じて成長し、日々の勉強や資格取得にも積極的に取り組めるようになりました。

電気系の学びを深めるために選んだ本田秀樹研究室では、分散リアクトル多数接続による系統への影響というテーマで、安心・安全な電力供給につながる研究に力を注ぎました。

就職活動では自己分析とエントリーシート作成に苦勞しました。



魚のすり身を練る杉田ゼミの4人。阿蘇航新さん(福島県福島商業高)は、「貴重な体験をすることができた。この交流で得た知識と経験を、商品のリニューアルに生かしたい」と感謝を述べた。

こめぼこ作りに 杉田ゼミが挑戦

12月7日、宮城県水産高校の食品製造棟で「こめぼこ」の製造実習が行われ、経営学部経営学科の杉田博ゼミに所属する3年次生4人がこめぼこ作りに挑戦した。

こめぼこは、杉田ゼミが宮城県水産高校、石巻北高校と連携して商品化に取り組んでいる米粉入りのかまぼこで、実習には高校の生徒も参加。すり鉢を使った昔ながらの手法で魚のすり身を練り上げ、石巻北高校で収穫した新米の米粉を混ぜた

出願受付中

★詳細はホームページで必ずご確認ください。

【一般選抜A日程】【特待生選抜】

試験日 1/30(日)
出願締切日 1/21(金) ※消印有効

【一般選抜B日程】

試験日 3/2(水)
出願期間 2/7(月)~24(木) ※消印有効

【大学入学共通テスト利用選抜B日程】

出願期間 2/7(月)~18(金) ※消印有効

